

都立墨田特別支援学校

令和8年1月14日（水）に、本校にて校内研究発表会を実施しました。

## 全校研究テーマ

「学習指導要領を踏まえた授業改善～小・中学部及び高等部の学びの連続性を考える～」

## ねらい

- ① 小・中学部及び高等部の系統性や指導に一貫性をもたせるため、学習指導要領を基にして「学習内容整理表」の作成を行う。
- ② 文部科学省著作教科書(星本)や高等部教科書等を参考にして指導を進める際に、児童・生徒の生活年齢等も考慮して、実際の指導をどのように進めるべきかを検討する。
- ③ 基準となる年間指導計画（墨田スタンダード）を作成し、これを基に、各学年の実態に応じた微修正を行ったものにするすることで、学年・学部の指導に学びの連続性をもたせることができるようする。

## 発表会の様子



研究グループごとの発表



内海友加利先生の講評

本年度は小・中学部及び高等部の系統性や指導に一貫性をもたせるため、学習指導要領を基にして「学習内容整理表」の作成に取り組みました。

14日の研究発表会では「国語小学部」「算数小学部」「理科高等部」「社会中学部」のグループが、1年間の研究成果を発表しました。

講師の内海友加利先生（東京学芸大学講師）からは、教育課程の編成にあたって「教科横断的な視点」、「何をどのように取り扱うか」、「学部等の接続」という視点で今年度の研究成果について講評いただきました。また、「授業時数に関する視点」や「教科横断的な視点」、「学部を通した系統性」、「教材の共有」について事例紹介とともに今後の研究の御助言をいただきました。

今回の研究成果を生かし、次年度以降は学習内容整理表と現行の年間指導計画の指導内容を比較検討し、学習内容整理表や星本の学習すべき内容が網羅されているか、生徒の実態に合ったものになっているかなど、お互いに確認し合い修正を加えていきます。基準となる年間指導計画（墨田スタンダード）を作成し、児童・生徒の成長を支える教育を追究してまいります。

次回は・・・「令和8年度の研究について」（令和8年6月発行予定）